

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

黒潮かおる漁業の町・肝付のみなと再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県、鹿児島県肝属郡肝付町

3. 地域再生計画の区域

鹿児島県肝属郡肝付町の区域の一部（波見港及び東風泊漁港）

4. 地域再生計画の目標

肝付町は、平成17年7月1日に旧内之浦町と旧高山町が合併し、新たな町政をスタートしたところである。本町は、自然環境に恵まれた、鹿児島県本土の大隅半島の東側に位置し、沿岸を黒潮が流れ、その恩恵を受けて古くから漁業の盛んな港町として栄えてきた。合併により、本町には第4種漁港の内之浦漁港と第1種漁港2港、地方港湾1港を有し、漁業協同組合も内之浦と高山の2漁業協同組合を有する漁業の町となった。

本地域は、定置網、刺し網、一本釣り、養殖を中心とした沿岸漁業が盛んな地域であるが、近年においては、水産資源の減少や魚価の低迷、漁業者の高齢化、後継者不足など厳しい現状であり、漁家の経営の悪化が地域の産業に大きな影響を与えている。当地区で水揚げされる養殖以外の漁獲物は、県内外向けがそれぞれ50%であり、また、カンパチを中心とした養殖物は、約80%が地元以外に出荷されている。このような状況の中、魚価の低迷に対応するため、水揚げされたものに付加価値をつけて少しでも高値で販売できるよう販路の拡大などを行っているが、陸揚場所の安全性確保及び港へアクセスする道路が隘路であることから、水揚げ時の作業効率や陸上輸送による鮮度保持に苦慮している状況である。

また、町内には、国内でも数少ない宇宙空間観測所が存在し、近隣の第4種漁港の内之浦漁港では、毎月「ロケット特産市」や年1回「イセエビ祭り」、約900年の歴史を誇る伝統行事「流鏝馬」等のイベントが開催されており、漁業協同組合並びに他の団体等との連携をもってこれらの観光資源、地域の特性等を活用し、町の活性化を図ることが課題となっている。

このような状況に対応するため、鹿児島県では「新かごしま総合基本計画」において、活力と魅力に満ちた水産業の振興として、漁村地域の機能

充実と安全性の向上を図ることとしており、本町においても、水産基盤の機能強化及び漁業就業者の就労環境改善や漁業所得の向上を図る。

これらの取り組みにより、黒潮かおる漁業の町・肝付のみなと再生を図り、地域の水産業を中心とした第1次産業の振興及び観光振興を目指す。

目標1) 波見港の出漁日数の増加

(現在 200日/年 → 230日/年)

目標2) 東風泊漁港の係船岸充足率の増加

(現在 55% → 70%)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1. 全体の概要

港整備交付金を活用し、港湾施設として、物揚場(改良)、船揚場(改良)、防波堤等を整備する。また、漁港施設としては、防波堤(改良)、護岸、物揚場、用地等の整備を行い、船舶の安全係留と生産基盤の強化及び地域の漁業振興を図る。

5-2. 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

○港整備交付金を活用する事業

整備箇所等については、別紙の整備箇所を示した図面による。

[施設の種類の事業主体]

- ・港湾施設(波見港) 鹿児島県
- ・漁港施設(東風泊漁港) 肝付町

[整備量]

- ・港湾施設 物揚場(改良)、船揚場(改良)、防波堤
- ・漁港施設 防波堤、防波堤(改良)、護岸、物揚場、用地

[事業期間]

- ・港湾施設 平成18年度～平成22年度
- ・漁港施設 平成18年度～平成24年度

[事業費]

- ・総事業費 1,685,000千円(うち交付金772,500千円)
- ・港湾施設 700,000千円(うち交付金280,000千円)
- ・漁港施設 985,000千円(うち交付金492,500千円)

5-3. その他の事業

地域再生法による支援措置を活用するほか、水産資源を生かした魅力ある港づくりを達成するため、以下の関連事業と総合かつ一体的に行うものとする。

○漁協間並びに他の産業団体等との連携による経営基盤強化

1) 購買事業

漁家の経営安定に資するため、組織としての事業機能・整備体制を進めるとともに、食の「安心・安全」に努め、生鮮魚介類の適正な価格形成に努める。

①販売の強化

地元で生産される生鮮魚介類のPR及び水産加工品の直販体制づくりを行うとともに、「肝付のさかな」のブランド化に努め、町内の他産業の生産物との共同販売等の連携をもって地産地消を推進するとともに、流通体制の整備及び販路拡大を図り、魚価の向上・安定を目指す。

②生産物の品質向上

鮮度保持・衛生管理に努め、生産物のレベルアップにより消費者ニーズへの対応を図る。

2) 加工事業

地元で水揚げされた魚介類の付加価値向上に努めるとともに、「漁協ならではの」の商品開発に取り組む。

3) 自営事業

肝付の豊かな海の有効利用に努め、組合員・地域住民及び観光客から支持される事業を検討する。

○地域の観光資源・行事等を活用して行う各種イベント等との連携

国内でも数少ない宇宙空間観測所を中心に交流人口の増大を図り、毎月開催される「ロケット特産市」や年1回開催の「イセエビ祭り」、約900年の歴史を誇る伝統行事「流鏝馬」等のイベントにあわせて、水産物を中心とした本町の特産となる農林水産物やそれらの加工品を積極的にPRする体制づくりを行い、地域の水産業を中心とした第1次産業及び観光振興を目指す。

6. 計画期間

平成18年度～25年度（8ヶ年）

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標にてらし、町において必要な調査状況把握を行い、県及び肝付町により評価・検討を行う。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し